

平成 31 年度（令和元年度）ジャパンリンクセンター運営実績

令和 2 年 4 月 15 日
ジャパンリンクセンター運営委員会

1. 委員会、分科会、メンバーミーティングの主宰、招集、事務

(1) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を合計 4 回開催した。また、その議事要旨をジャパンリンクセンターの web サイトで公表した。

(2) メンバーミーティング

令和 2 年 1 月 16 日にメンバーミーティングを開催した。

2. サービスの開発、運用および管理

(1) サービスの開発

次の開発を行った。

表 1. 平成 31 年度（令和元年度）の新規開発項目

項番	開発・検討項目	内容
1	サービスの開発	<p>① JaLC コンテンツ検索のリリース 令和元年 5 月 29 日に DOI、タイトル、著者名を指定して検索することができる「JaLC コンテンツ検索」を JaLC の Web サイト上でリリースした。</p> <p>② 会員画面の改修 JaLC 正会員向けのお知らせ、DOI 解決ログ等の情報を掲載したダッシュボード機能を令和元年 9 月 25 日にリリースした。</p> <p>③ セキュリティの強化 セキュリティ向上のため JaLC システムへのログイン時のパスワードルールを令和元年 9 月 25 日に変更した。</p> <p>④ 外部連携機能（OAI-PMH 情報提供機能）の拡充 データ利活用に資するため、JaLC に DOI 登録された全てのデー</p>

		<p>タを出力対象とするように OAI-PMH 情報提供機能の拡充を行った（従来は「ジャーナル」のみであったが、「書籍」、「研究データ」、「e-learning」、「汎用データ」も出力できるようにした。）。令和 2 年 3 月末までにリリース準備を終え、令和 2 年 4 月 8 日リリース予定。</p>
2	機能改修	<p>① ORCID 業績登録支援機能の追加</p> <p>ORCID と連携し、JaLC コンテンツ検索画面から ORCID 業績登録を行えるようにすることで、JaLC に登録されているコンテンツを研究者が自身の業績に簡単に登録できるようにした。令和 2 年 3 月末までにリリース準備を終え、令和 2 年 4 月 8 日リリース予定。</p> <p>② 外部連携機能見直し</p> <p>ORCID 自動連携機能の追加、DataCite および PubMed デポジット機能、Crossref 被引用関連機能等の外部連携機能の改善を行った。令和 2 年 1 月以降順次リリース実施。一部の機能については令和 2 年 4 月以降に順次リリース予定。</p> <p>③ 抄録ライセンス条項の追加</p> <p>メタデータのオープン化に向け、DOI 登録データに抄録ライセンスフラグを追加する。令和 2 年 3 月に要件定義着手。（令和 2 年 7 月末リリース予定）</p>
3	調査	<p>データクレンジング</p> <p>今後のデータ修正に活用するため、外部との不整合、メタデータチェック漏れ、内部構造の問題の観点から JaLC システムの DB 内に存在する不具合データの実態を調査し、データ件数を集計した。</p>
4	サイト構成見直し	<p>JaLC および RDUF サイトリニューアル</p> <p>JaLC および RDUF の Web サイト（日本語・英語）について、インターフェースデザイン、コンテンツ構成、情報デザインの全般を見直し、JaLC、RDUF に関心のある人々が必要な情報にアクセスしやすい Web サイトとなるようリニューアル作業を行った。令和 2 年 5 月頃にサイトリニューアルの予定。</p>

(2) 運用

システム運用、ユーザサポート業務は、過年度に引き続き外部に委託して実施した。

3. DOI 登録機関業務

(1) 入会対応等

過年度に引き続き、正会員の入会対応および準会員への DOI prefix の払い出しを行った。その結果、会員数、DOI 登録件数は、表 2 のとおりとなった。

表 2. 会員数および DOI 登録累計件数の推移

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度 (令和元年度)
正会員数 (機関)	21	25	29	37	43	49
準会員数 (機関)	944	1,131	1,518	1,814	2,060	2,257
DOI 登録件数 (件) (種別毎の内訳)	3,023,504	3,189,377	3,457,584	5,330,029	8,155,335	8,529,611
・ 論文	2,789,095	2,937,916	3,193,160	4,941,494	6,701,165	7,028,298
・ 書籍、報告書	234,409	248,488	261,175	309,559	1,317,654	1,341,739
・ 研究データ	-	1,545	1,719	75,875	133,152	156,000
・ e ラーニング	-	1,427	1,520	1,891	2,120	2,321
・ 汎用データ	-	1	10	1,210	1,244	1,253

- ・ 正会員数、準会員数とも堅調な伸びを示している。正会員は公的研究機関、医学系の学会、民間出版社など多彩な機関で構成されており、また準会員は J-STAGE 参加学協会や、大学機関リポジトリ等から構成されている。
- ・ 平成 30 年度と比較すると年間あたりの DOI 登録件数は減少したが、昨年度も各会員によって着実に DOI 登録が進められた。昨年度の大口登録例としては、国文学研究資料館約 2 万件、医学中央雑誌刊行会約 2 万件への DOI 登録があった。

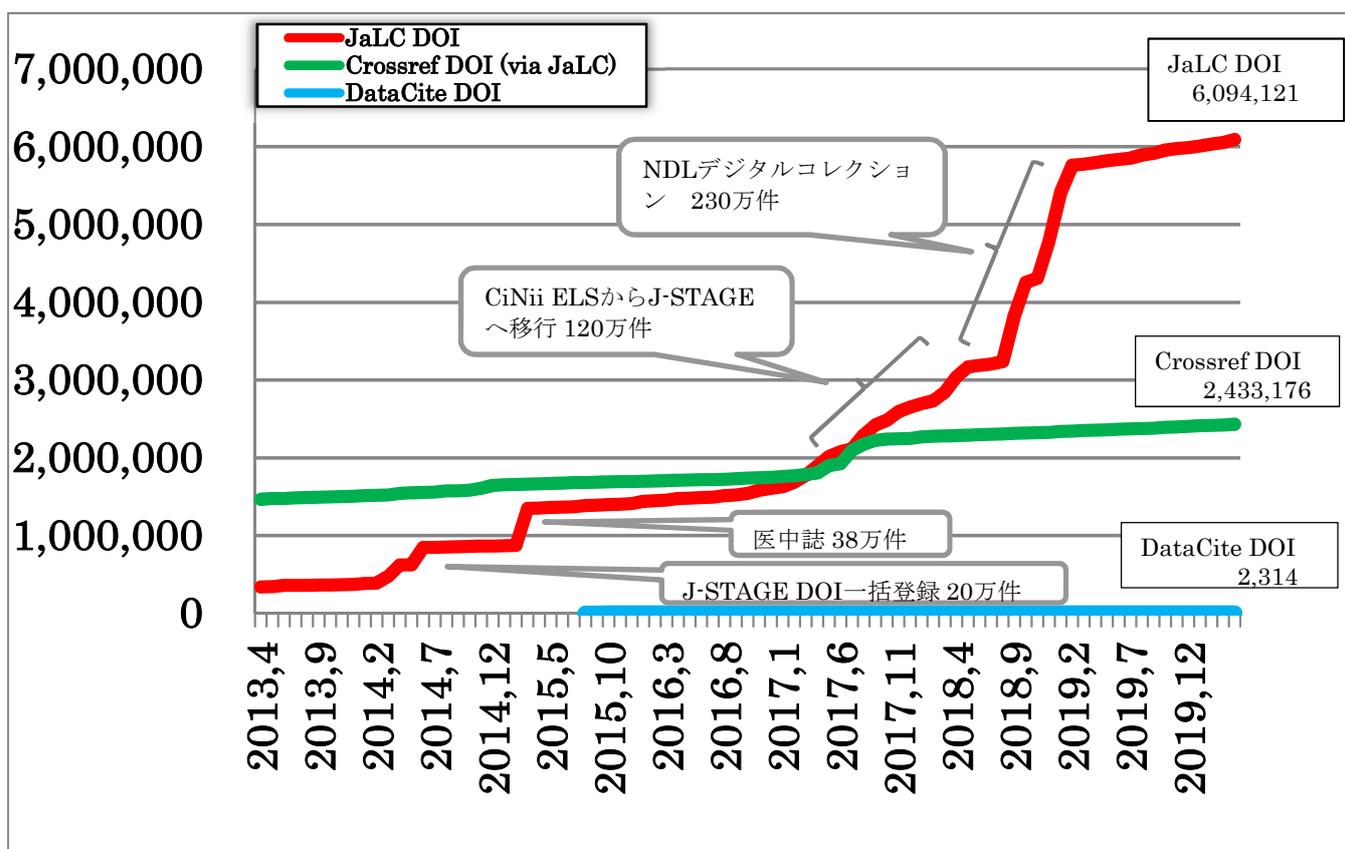


図 1. DOI 登録件数の推移

(2) 入会説明会の開催

正会員の入会希望の申し出を受けて、個別に入会説明やデータ登録デモを行ったことに加え、令和2年1月に入会説明会を開催した。

4. その他、JaLC の運営に関する一切の事務¹⁾

(1) 参加規約および運営規則の改正の周知

JaLC では、平成29年3月に策定した「ジャパンリンクセンター ストラテジー2017-2022」の中で「DOI やメタデータがオープンに活用されることを推進します」と定められたことに従い、メタデータをオープン化することが決定された。そのため、令和元年10月1日に参加規約および運営規則を改正することを会員に向けて周知した。

(2) 普及・広報

- ① 表3のとおり DOI の普及・広報を行った。

¹⁾ ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項5号

表 3. 平成 31 年度（令和元年度）の普及・広報

1	Japan Open Science Summit (JOSS) 2019 (令和元年 5 月 27 日、28 日) 研究データ利活用協議会 (RDUF) が協力機関として参加した。また、RDUF の 4 つの小委員会がセッションにおいて発表した。
2	RDA × RDUF Meeting (令和元年 10 月 10 日) Research Data Alliance (RDA) の Ms.Hilary Hanahoe を迎え、RDUF の紹介、RD による活動報告およびわが国における研究データの利活用に関するディスカッションを行った。
3	RDA 14 th Plenary Meeting (令和元年 10 月 23～25 日) 村山 RDUF 副委員長のポスター発表用ポスターを事務局として作成した。
4	ジャパンリンクセンター「対話・共創の場」(令和 2 年 1 月 16 日) Crossref から Ms.Rachael Lammey を招き、Crossref の最新の取り組みについて紹介を受け、その後全体ディスカッションを行った。
5	RDUF 公開シンポジウム 新型コロナウイルスの影響により、令和 2 年 3 月 11 日に開催予定であったが中止となった。その代替として小委員会の活動報告に関する動画を RDUF Web サイト上に公開した。

② JaLC NEWS の配信

JaLC 正会員に向けた情報発信ツールとして、令和元年 4 月～令和 2 年 3 月の第三水曜日に JaLC NEWS を配信した。

— 以 上 —